

J-SLA ニュース・レター 2017 年 6 月号

初夏の候、日本第二言語習得学会（J-SLA）会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。今月初めに開かれた大会をはじめ、いくつかお知らせがございます。

1. 2017 年度 J-SLA 年次大会終了

2017 年 6 月 3 日(土)・4 日(日)の 2 日間、静岡文化芸術大学で 2017 年度大会が開催され、109 名の参加者がありました。今年は、University of Braunschweig の Holger Hopp 氏をお招きし、「The Bilingual Lexicon in L2 Sentence Processing」というタイトルで講演をしていただきました。また、学生ワークショップ、口頭発表、ポスター発表があり、とても実りある大会でした。懇親会も盛況で、参加された会員のみなさんは、招待講演者と歓談したり、会員同士で情報交換をしたりと、有意義なひとときでした。（J-SLA ホームページにプログラムがあります。）

2. 発表：J-SLA 優秀口頭発表賞

2014 年度大会より口頭発表の中から優秀口頭発表賞を選出しております。会長が指名した審査委員 3 名による審査の結果、2017 年度 J-SLA 優秀口頭発表賞は以下の発表に決定しました。

Woods, Haruka (The Australian National University)

『Syntax-discourse interface in L2 acquisition: Case of Japanese *wa* and *ga*』

なお、2018 年度 J-SLA 年次大会にて授賞式を挙げる予定です。

3. 総会議事記録

年次大会 2 日目に総会が開かれました。主な内容は以下の通りです。

(1) 2016 年度決算、2017 年度予算について

会長より、資料を基に説明があり、承認されました。

(2) 2018 年度行事について

若林茂則会長より、以下の行事予定について説明があり、承認されました。

①「2018 年度年次会」

開催日：2018 年 6 月 9 日（土）、10 日（日）

開催場所：学習院大学

②「2018 年度の秋の研修会」

開催日：2018 年 10 月 21 日（日）もしくは 28 日（日）

開催場所：同志社大学

(3) 2018 年度新会長選出について

運営委員会において次期会長に選出された稲垣俊史運営委員（現副会長）が、承認されました。2018 年 4 月から新体制がスタートします。

次回の総会は、秋の研修会の時に行う予定です。

4. J-SLA の学会誌 *Second Language Vol.17* への投稿募集

J-SLA の学会誌 *Second Language Vol.17* への投稿を募集しております。投稿された論文は、編集者並びに専門家による査読が行われます。次号の締め切りは 9 月 30 日です。2017 年度 J-SLA 年次大会で発表された方はもちろん、皆様、是非、奮ってご投稿ください。

投稿の書式など、詳しくは J-SLA のホームページをご覧ください。

5. 2017 年度秋の研修会

2017 年度秋の研修会を以下のとおり実施します。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2017 年 10 月 29 日（日）10：30-17：00

会場：首都大学東京 南大沢キャンパス 国際交流会館大会議室

* アクセスは、https://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html にてご確認ください。

参加費：1,000 円（会員、非会員、一般・学生とも）

10:10-	受付
10:30-12:00	講演 須田孝司氏（静岡県立大学） 「日本人英語学習者の文処理方略について」
12:00-13:00	昼食・休憩
13:00-13:40	J-SLA 総会
13:45-15:15	講演 清水崇文氏（上智大学） 「中間言語語用論：L2 口頭運用能力の解明を目指して」（仮題）
15:30-17:00	講演 庵功雄氏（一橋大学） 「言語間の類似と相違を捉えるための機能主義的観点一場所を表す「に」と「で」、 限定詞「この」と「その」を例に一」

* 事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

今月号は以上です。

ニュース・レターおよび学会活動などについて、ご意見、お問い合わせは、メールにて下のアドレスまでお願いします。

柴田美紀 (shibatam@hiroshima-u.ac.jp)

日本第二言語習得学会(J-SLA)事務局